

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系役内川(一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系役内川緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系役内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県湯沢市横掘～湯沢市寺沢 地内 【別図参照】		
実施予定期間	令和2年度～令和5年度(4年間)		土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	(3,700m2)	第3種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	500	
	令和4年度	(7,000m2)	
	令和5年度	800	
	令和6年度	0	
	計	1,300	
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。		

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系白子川(一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系白子川緊急浚渫推進事業	
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系白子川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県湯沢市大森 地内 【別図参照】	
実施予定期間	令和2年度～令和6年度(5年間)	土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	360
	令和3年度	400
	令和4年度	300
	令和5年度	300
	令和6年度	300
	計	1,660
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。	

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系宇留院内川 (一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系宇留院内川緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系宇留院内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県湯沢市高松字関沢 地内 【別図参照】		
実施予定期間	令和2年度～令和4年度 (3年間)		土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	1,600	第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	1,000	
	令和4年度	1,000	
	令和5年度	0	
	令和6年度	0	
	計	3,600	
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。		

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系西馬音内川 (一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系西馬音内川緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系西馬音内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県羽後町郡山～羽後町向下川原 地内 【別図参照】		
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)	土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	1,100	第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	300	
	令和4年度	(2,000m2)	
	令和5年度	(2,000m2)	
	令和6年度	300	
	計	1,700	
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。		

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系高松川(一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系高松川緊急浚渫推進事業	
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系高松川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県湯沢市相川 地内 【別図参照】	
実施予定期間	令和3年度～令和6年度(4年間)	土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	
	令和3年度	300
	令和4年度	300
	令和5年度	300
	令和6年度	300
	計	1,200
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。	

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 雄物川水系田沢川(一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	雄物川水系田沢川緊急浚渫推進事業	
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系田沢川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県羽後町田沢～大戸 地内 【別図参照】	
実施予定期間	令和3年度～令和4年度(2年間)	土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	
	令和3年度	600
	令和4年度	600
	令和5年度	
	令和6年度	
	計	1,200
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。	

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添1)

令和3年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県  
市区町村名

河川名 子吉川水系石沢川(一級河川)

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2514

事業名	子吉川水系石沢川緊急浚渫推進事業	
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する子吉川水系石沢川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県羽後町上仙道～田代地内 【別図参照】	
実施予定期間	令和3年度～令和5年度(3年間)	土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和2年度	
	令和3年度	200
	令和4年度	200
	令和5年度	200
	令和6年度	
	計	600
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・浚渫箇所や発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。	

(河川維持管理計画等抜粋)

(別添 1)

令和 3 年度 浚渫発生土砂情報

都道府県名 秋田県

河川名 桒沢川溪流保全工

担当課室名 河川砂防課

連絡先 018-860-2518

事業名	桒沢川溪流保全工 緊急浚渫推進事業		
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	秋田県が管理する桒沢川溪流保全工の除石を行うもの。 浚渫 (除石) 箇所: 秋田県湯沢市上関 地内 【別図参照】		
実施予定期間	令和 2 年度～令和 3 年度 (2 年間)	土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m <sup>3</sup> )  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m <sup>2</sup> ) 書きで記載	令和 2 年度	2, 100 m <sup>3</sup>	第 4 種建設発生土  ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和 3 年度	1, 000 m <sup>3</sup>	
	令和 4 年度		
	令和 5 年度		
	令和 6 年度		
	計	3, 100 m <sup>3</sup>	
その他  ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用などの方針等について、可能な範囲で記載	・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・発生する土砂の運搬・処分等については、可能な限り公共事業への再利用に努め、発生土の有効活用・コスト縮減に取り組む。		